

自分らしくいられる場所づくり

NPO 法人 だいこんの花

1. 活動先紹介

だいこんの花は、知多市の八幡にあり、名鉄寺本駅から歩いてすぐのところにあります。介護や家事など援助を必要としている人と、それを協力できる人とがともに対等な会院として助け合うことができるような会である。手伝いの内容については相談に応じ、変えることもできる。民家を改造したというアットホームなこじんまりとした空間でその人らしく生きることができるようなサービスを提供している。サービスの内容としては、介護保険事業支援費事業（訪問介護・介護予防訪問介護・デイサービス）とたすけあい事業を中心に活動している。住み慣れた町、暮らし続けた家で高齢者、障害のある方、その他困難を抱えている方とそのご家族が自分らしく生きていけるようにまずは、はじめの一步といえる、小さいながらも気軽に立ち寄り、楽しくおしゃべりが出来るような「ふれあえる場所づくり」から始めている。人を大切にし、困ったときはお互い様の気持ちを忘れずに住みやすい地域づくりにも努めている。だいこんの花ではこの輪が少しずつでも地域の方を中心に広がっていくことを願いながら活動している。

2. 当初の活動目的、目標

私がだいこんの花で活動させていただきたいと思った理由は、たすけあい事業という言葉に共感したからです。介護などではどうしてもどちらかが助ける立場になってしまうのだが、困ったときはおたがいさまだという気持ちを持つだけでもやわらかいような感じがした。また、地域との交流も大事にしているため、そこも素晴らしいと思った。だいこんの花で活動する中で、利用者の方が自分らしく生きていけるようなお手伝いをするとはどのようなことなのかを学びたいと思い始めた。また、アットホームなあたたかい場所であることも素晴らしいと感じた。活動に対する目標としては、たすけあい事業の中身までしっかりとふれていきたいというものだ。たすけあい事業を通して利用者の方がどう感じるのか、またそれがどのように地域づくりに生かされているのかなどを利用者目線から見られるようにし、それを全体的に見ることができるようにしていきたい。ただだんに生活支援をするだけではなく、ひとつひとつの活動にしっかりとした意味のようなものを持って活動をすることを目標としていた。利用者の方にとっても私自身にとっても次につなげていけるような活動を考えながら、楽しんで活動をしていきたいと思った。また、レクリエーションの授業を生かしたいと感じたため、実際にデイサービスの中でいくつかのレクリエーションをしたいということも提案した。どのようなレクリエーションをしているのかを知るのと同時に自分自身もレクリエーションを提供する立場に立ち、一緒にレクリエーションを楽しみたいと思った。

3. 活動の内容

今回、私はサービスラーニングの活動でデイサービスを中心に活動させていただいた。ただデイサービスの中に入るだけでなく、利用者さんと話しをしながらその人のことを理解していくような活動をした。また、大学でレクリエーションの授業を取っていることもあり、実際にデイサービスでもレクリエーションを企画させていただいた。魚釣りでは職員の方に協力していただき、リアルな魚を作り上げることにより、利用者の方も本気で魚を釣ってくれた。中には魚にまつわる思い出話しをしてくれる方もいて、回想法にもつながった。朝のお迎えから始まり、帰りまで利用者の方々と一緒に過ごした。デイサービスだけではなく、のぞみの家の利用者さんと常滑の花火大会にも行った。普段私たちは簡単に電車に乗ったりすることができるが、障害を持っている人にとってはそれがすごく難しいことだというのを実感した。訪問介護にも同行させていただいたが、訪問先の利用者さんと会話を通してその人の健康状態を把握することは重要だと感じた。また、愛知フェスティバルにも参加させていただき、他のNPOとふれあえる貴重な機会であると感じた。

4. 活動における問題点、課題

活動における問題点はいくつかあり、課題も出てきた。まず、最初のうちはデイサービスに入っても自分が何をしたいのかも分からず目標も意識できずに一日を過ごしてしまっていたため、もう少し積極的になれたらよかった。また、利用者さんのことを把握できないままに会話を進めてしまった部分もあり、わからないこと・気になったことはもっと職員の方に尋ねることもできたのではないだろうか。目標づくりはしっかりできていたのに、活動の中でそれらを活かしていることがあまりなかったように感じるため、もっと意識できたらよかったと感じた。地域についての学習についても最初から、もっと自分自身で学んでおくはずだったのだが、中途半端にしか学べなかったため、実際に活動が始まってからしか深く知ることができなかった。最初のうちからもう少し踏み込んでおけば活動においてもスムーズに進められたのではないかと思った。全体的に活動が始まってから知ることの方が多く、もっと事前学習を深くしておけば、活動でもっと様々な考えがもてたのではないだろうか。また、私が利用者の方に色々な話しをし、話しを聞き、利用者の方について知っていくことはできたが、利用者の方に自分のことを知ってもらうという機会はあまりなかったように感じている。次からはどのように相手に自分を伝えられるかを考えながら動きたい。これからさらに地域に対する学びも深め、この地域でどのようなサービスがどのような人に必要とされているのかなどを考えていきたい。レクリエーションもやらせていただける機会があれば、さらに工夫をし皆さんが楽しいと思えるよう工夫をしたい。

5. 活動を通して学んだこと、理解したこと、成長したこと

10日間の活動の中で、ただたんにデイサービスにやってくる利用者の方々と一日を楽しく過ごすというだけではなく、次につなげていけるような接し方ができるようになったと思っている。最初のうちは利用者さんにどのように話しをつなげられるかなど、接し方に迷ってしまいあまり話しもできないままに一日を終わってしまうこともあったが、慣れてくると自然に言葉が出てくるようになり、利用者の方々と同じ目線でのコミュニケーションもだんだんとれるようになった。また、利用者さんから地域についての話しも伺うことができ、ひとりひとりの利用者さんの地域の特色なども話しの中でしたることができた。人数が少ないということもあるかもしれないが、利用者の方々と本当に近い位置でのコミュニケーションがとれるようになり、とても楽しく感じた。最初のうちはある特定の方にはしか話しかけられなかったが、慣れてくるともっと他の方々にも話しかけることができるようになった。その人のことを知りたい、という気持ちが自然に持てたからだと思う。その中でレクリエーションを通して発見が多くあった。絵はかいてくれなくても、色ぬりはしっかり自分から進んでやったり、ゲームを夢中になってやってくれたり、一日を一緒に過ごす中で利用者さんの性格がなんとなくつかんでいくことができた。一日一日に新しい発見があり、新鮮な気持ちにもなり、その人に近付けたという、うれしい気持ちにもなった。自分よりも50～70年ほど長生きされていて、戦争戦後の話などを聞くと本当に人生の大先輩であると実感した。今の自分の年齢ではみなさん働いていた方ばかりで辛い経験もたくさんされたと伺った。自分の中で高齢者は助けなければならない、という対象に入っていたのだが、この活動を通してそこに敬意も持てるようになった。これからの学習などにこれらをしっかりと生かしていけるようにしておきたい。

6. 活動先への提案

活動先への提案としては、新しく岡田にデイサービスができるため、そこでどんなサービスを提供できるようにするのかを考えることだ。それはとても大変で難しいことだと思う。小学校が近くて、しかも校舎を創設するほど子どもの数が増えているという点に着目し、放課後は学童のサービスをするというのもすごいと感じたが、そのためにどのようなスタッフが必要となるのかも考えなければならなくなる。重度の方を受け入れるためには設備を整える必要もあり、なかなか難しいということも感じた。どんなものが地域の方に必要とされているのかを知ったうえで、どうしたらその人らしくいられる空間サービスを提供できるのかを考えていきたい。また、今回のサービスラーニングの活動のように内側である職員からだけの意見ではなく、外側からの意見も重要視することに新しいものが見えてくるのではないかと感じた。活動先自体が積極的に地域に入っていくことが重要であると思った。地域に密着し、適切なサービスを提供しおていくことができたなら…と考える。

7. 次年度活動をする学生へ

来年度、だいこんの花で活動をする後輩たちには是非私ができなかったこともたくさん学んでほしいと思っている。活動の前半では、緊張したりしてなかなか打ち解けられないのもあたりまえかと思うが、最初のうちから自分の持っている目標をしっかりと意識しながら活動をすることにより、中身の詰まった活動ができる。デイサービスでは、利用者さんのことを慌てて知ろうとせずにゆっくり時間をかけてでもいいので知ってほしい。私は慌てて知ろうとしてしまい、空回りしてしまった部分があるため、後輩の皆さんには焦らずゆっくり相手を知るというコミュニケーションを取ってほしいと思っている。また、分からないことがあったり、心配なことがあればなんでも職員の方に聞いて学んでいくことも大切だと感じる。聞くことは恥ずかしいことではなく、活動先に自分のことを知ってもらうようなことであると考え。自分一人でする活動ではなく、たとえ私のように活動先に一人しか生徒がいなかったとしても、活動先の皆さんとともに活動をするようなつもりで活動をしていくべきである。また、事前学習をするのとしらないのでは大きく違ってくるため、できる範囲で事前学習はしたほうがいいと思う。それは、そのNPOのことでも、利用者も方々のことでも、地域についてのことでもどんなささいなことについても自分が気になったことはすべて学習していく必要がある。学べることはたくさんある活動なので、めんどくさがらずにどんなことでも積極的に参加することが大切だと考える。